

創刊600号からのさらなる発展を

全国学童保育連絡協議会 会長・戸塚丈夫



月刊『日本の学童ほいく』2025年8月号は、創刊から数えて600号目となる、記念すべき号となりました。本誌が創刊されたのは1974年です。

本誌が、51年もの間、読者の皆様に愛されつづけているのは、ひとえに読者としてはもちろん創り手としても、保護者・指導員をはじめとする学童保育関係者の方々に、多大なお力添えをいただきつづけているからにほかなりません。あらためて心より感謝申し上げます。

学童保育は、働きながら子育てする家庭にとって必要不可欠な事業であり、人々の経済活動を支えるうえでも必要不可欠な社会基盤でもあります。その数は年々増加し、2024年度の「支援の単位」数は3万7000超、入所児童数は約147万人となっています。今後も、働くことと子育てを両立させる家庭はさらに増加することが予想されており、学童保育の必要性はよりいっそう増していくでしょう。

誰も人生ははじめてのことばかりです。最初からすべてうまくいくはずありませんし、ときに失敗することもあると思います。とくに子育ては、よろこびとともに、迷いや悩みを抱くこともあるでしょう。

そして学童保育で個性豊かな子どもたちと生活をつくっていく指導員もまた、よろこびとともに、むずかしさを感じることもあるのも事実です。そんなときに役立ててほしいのが、月刊『日本の学童ほいく』です。働きながらの子育てや、指導員の仕事に役立つヒント、保護者と指導員の共感を育むためのヒントが満載です。

本誌は、全国学童保育連絡協議会の機関誌であり、日本で唯一の学童保育の専門月刊誌です。これからも、一人でも多くの方に本誌を購読していただき、学童保育の理解者を増やし、子どもたちが安全で安心して過ごせる生活の場・学童保育をつくっていきましょう。

今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

